



はぐくみ

《学校教育目標》 ゆたかな心とたくましい体をもつ子どもの育成

立花北小 校長室だより

令和6年11月13日発行
No.6「人を選ぶというお話」

発行者：校長 佐野 正信

人を選ぶというお話 ～選挙ってなに？～

11月の朝会では、子どもたちに「人を選ぶ」というお話をしました。

『さて、今朝の校長先生は、「人を選ぶ」というお話をします。皆さんは、「選挙」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。ニュースなどで聞いた人もいると思いますが、先月から大人たちの世界では「衆議院選挙」「アメリカ大統領選挙」そして今週末には「兵庫県知事選挙」という大きな選挙が3つ続いています。実はこの「選挙」というのは、みんなの代表やリーダーを選ぶとても大事なもののなのです。ところが、最近、「誰に投票しても世の中は変わらない」とか「誰に投票してよいかわからない」「遊びに行く予定がある」などと言って、選挙の投票に行かない人が増えていると言われていています。校長先生は、このことをとても残念に思っています。なぜかと言うと、世界には「選挙」がない国があって、その中には、国のえらい人が「こうする」と決めたら、必ず国民は言うことをきかなければならない国もあります。例えば、ウクライナとロシアとの戦争が長い間続いています。最近、ロシアを応援するために、違う国の若者が兵隊としてウクライナに戦いに行くよう命令され、多くの若者が命を失っているというニュースが伝えられました。日本がそんな国にならないようするためには、まずは選挙に行くこと。そして（この人ならリーダーとしてみんなのことを考え、暮らしやすい世の中をつくってくれるだろう）…という人をしっかり選んで投票をすることが大切です。ただ、立候補している人が、どんなことを考えている人なのか、自分で知ろうとしなければ、だれも教えてはくれません。そこで、今日、校長先生は、今週末に行われる兵庫県知事選挙の「選挙公報」なるものを持ってきました。ここには「私が兵庫県知事になったら、こんなことをしたいです」ということが、ポスターより詳しく書かれてあります。選挙に行く大人たちは、こういうものを読んで、一生懸命考えて1票を入れるのです。…と、大人たちは今、こんなことをしています。



皆さんも18歳になると選挙に行くことができます。6年生はあと6年ですよ。その時になって、急に人を選ぶというのは難しいことです。今のうちから「人を見る目」と「人を選ぶ力」をしっかりと身につけてほしいと思います。小学校でも「人を選ぶ」という機会があります。体育のチームでキャプテンを選ぶ、自然学校の班長さんを選ぶ、修学旅行の室長さんを選ぶ、学級代表を選ぶ…そして、3学期の児童会選挙では自分たちのリーダーを選びます。そんな時、「その人を好きか、嫌いか」とか「おもしろいか、おもしろくないか」…で選ぶのではなく、みんなのために一生懸命頑張ってくれる人かどうかをしっかりと見極めることが大切なのです。

それと同時に、今のうちから世の中で起こっていることに関心を持って、ニュースや新聞を見たり、お家の人と話をしたりしてほしいと思います。まずは、今週末の兵庫県のリーダーを選ぶ知事選挙、どんな人が選ばれるでしょうね。できればお父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんとも「選挙」のことについてお話をしてみしてほしいと思います。』こどもたちは静かに聞いてくれました。

がんばれ、4年生！ ～尼崎市小学校音楽会へ～

「尼崎市小学校音楽会」に立花北小学校の代表として出場する4年生。昨年の音楽会でも、素敵な歌声をきかせてくれたことは今でもはっきりと覚えています。音楽会に全校生は聴きに行くことができないので、朝会の後、4年生がみんなの前で歌を聴かせてくれました。世界屈指の音楽ホールであるアルカイックホールの舞台上に立って歌うことができるのは、尼崎で育つ子どもたちだけの特権です。本番当日は、緊張しないで心を込めて持ち前のきれいな歌声をきかせてくれることを楽しみにしています。

「がんばれ、4年生！」の気持ちを込めて、全校生で拍手をおくりました。

